

P-H-2

アスタキサンチン・クロセチン配合食品の 眼精疲労及び調節機能に対する影響

Effects of Tablets Containing Astaxanthin and Crocetin on Asthenopia and Accommodation

○ 荒川ゆかり¹⁾, 藤島 雅基¹⁾, 溝口 亨¹⁾

1) 株式会社サン・クロレラ 生産開発部 研究開発グループ

We examined the effects of intake of tablets containing astaxanthin and crocetin on asthenopia and accommodation function. An open-label study of 15 healthy male subjects with asthenopia revealed a significant increase in mitotic response and improvement of subjective symptoms associated with reduction of accommodation function after 28 days of intake. This finding suggested that tablets containing astaxanthin and crocetin may ameliorate asthenopia, the decrease in accommodation function and the subjective symptoms associated with aging.

【目的】

近年 VDT 作業による眼精疲労や、加齢に伴う眼調節機能の低下が問題となっている。そこで本試験ではアスタキサンチン・クロセチン配合製品の摂取が眼精疲労及び調節機能に与える影響について検討を行った。

【方法】

眼精疲労を感じている 45 歳から 65 歳までの健常男性 15 名でオープンラベル試験を行った。アスタキサンチン・クロセチン配合製品 10 粒を試験食とし（㈱サン・クロレラ製，1 粒中にアスタキサンチン 0.6mg とクロセチン 0.75mg を含む）28 日間摂取させた。試験開始 7 日前及び 28 日後に問診，アンケートによる自覚症状の調査，視力，屈折力，近見反応測定装置（浜松ホトニクス㈱製，トライイリス C-9000）による縮瞳率の測定を行った。

【結果】

摂取前後の比較において左目の縮瞳率が有意に増加し，右目についても増加傾向が見られた。自覚症状に関しては「目が疲れる」，「近いところが見えにくい」，「遠いところが見えにくい」，「肩・腰がこる」の項目で，5 段階評価（非常に良くなった，良くなった，やや良くなった，変化なし，悪くなった）のうち改善を示す「やや良くなった」以上の回答をした被験者の割合が 50% 以上であった。

【結論】

眼精疲労を感じる 45 から 65 歳の男性において，縮瞳率の有意な増加と調節機能の低下に付随して現れる自覚症状の改善が見られた。以上の結果より，アスタキサンチン・クロセチン配合食品は眼精疲労及び加齢に伴う調節機能低下と自覚症状を改善させる可能性が示唆された。